

沖縄県個人邸での熱交換塗料の効果実証テスト

<実施条件>

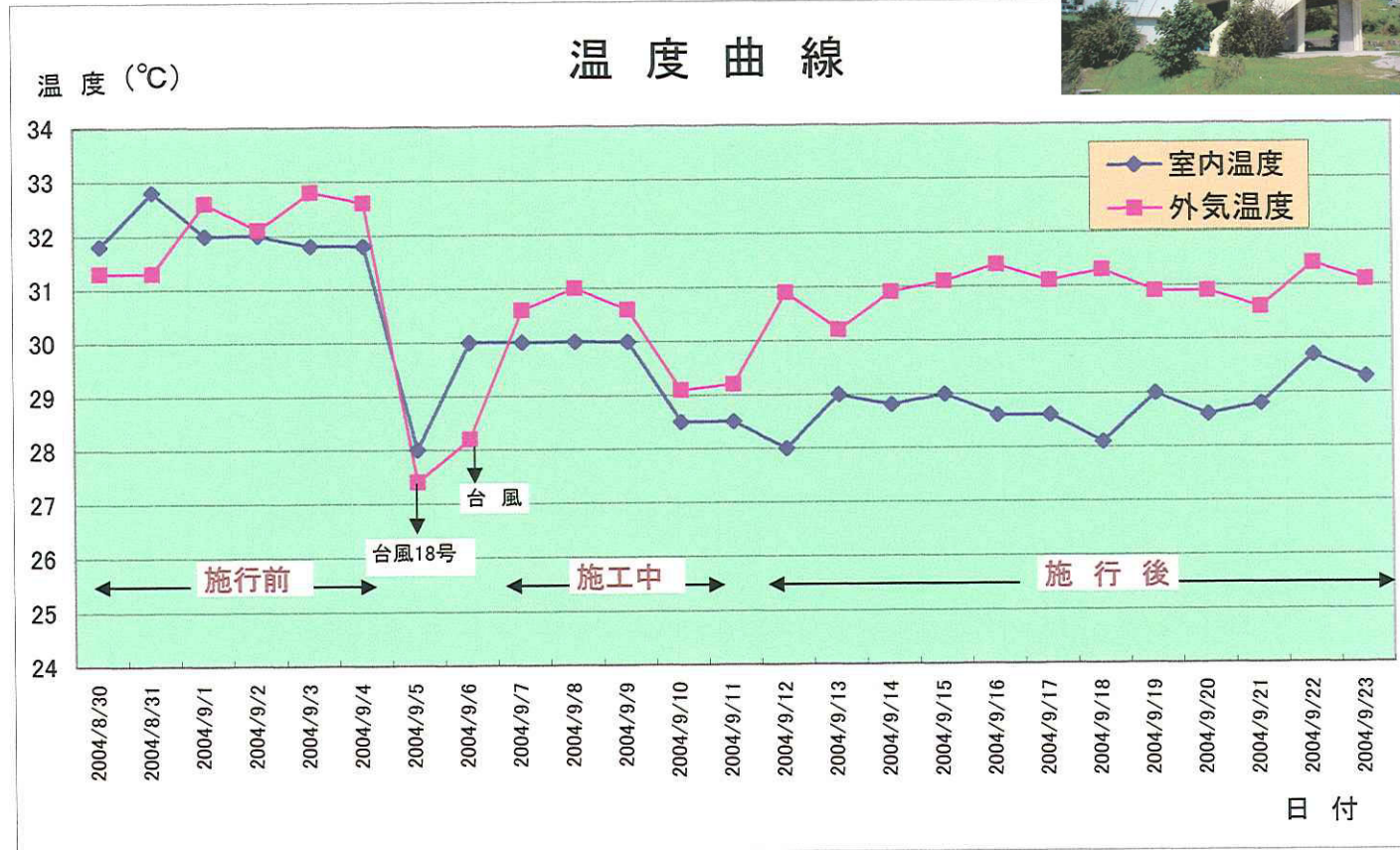
塗 装 : 屋根部 タフコートD-42 0.15kg/m² × 2回塗り
: 壁面部 タフコートD-47 0.15kg/m² × 2回塗り

温度測定場所 : 南側6帖和室. 自動温度測定

協力会社 : 大栄産業株式会社
アルバー工業株式会社

温度測定（最高温度）

	室内温度	外気温度
8月30日	31.8	31.3
8月31日	32.8	31.3
9月1日	32	32.6
9月2日	32	32.1
9月3日	31.8	32.8
9月4日	31.8	32.6
9月5日	28	27.4
9月6日	30	28.2
9月7日	30	30.6
9月8日	30	31
9月9日	30	30.6
9月10日	28.5	29.1
9月11日	28.5	29.2
9月12日	28	30.9
9月13日	29	30.2
9月14日	28.8	30.9
9月15日	29	31.1
9月16日	28.6	31.4
9月17日	28.6	31.1
9月18日	28.1	31.3
9月19日	29	30.9
9月20日	28.6	30.9
9月21日	28.8	30.6
9月22日	29.7	31.4
9月23日	29.3	31.1



この結果を見る上で、次の点がその条件にあることを述べておきます。

- 1) 写真で判る通り、旧塗膜が良好でまだ色による遮熱効果を若干残している。
- 2) 西側部に大きなガラス戸が入っていて、入熱が極めて大きいと考えられる。
- 3) 気温が高ければ高い程、低域効果が大きいですが、このテストは残暑期の最高気温を示さない時期に実施している。

この様な条件下でのテストで、最大3°C強の室温低域効果を示していることは、即ち 熱交換塗料の効果を現していると言えます。